

4月
2017年

142号

地域共創・未来共創の大学へ

広 沖縄大学報

発行

沖縄大学経営企画室
〒902-8521 沖縄県那覇市字国場555
☎ 098(832)2910
<http://www.okinawa-u.ac.jp>



嘉数昇記念賞を受賞した名嘉帆希さんと嘉数昇明後援会長（3月10日卒業式のあとに）

Contents

- 02 新入生へのメッセージ
- 03 研究のひろば（成定洋子）／わがゼミナール（梶村光郎）
- 04 2017年度赴任教員メッセージ
- 06 学生インタビュー①（名嘉帆希）／リレーエッセイ（金城睦希）
- 08 学生インタビュー②（我那覇みなみ）

- 10 2016年度卒業式・修了式
- 12 2016年度卒業生・修了生特別表彰者、総代
- 14 2016年度各種奨学生
- 15 2016年度寄附金報告
- 16 創立60周年記念事業委員会

学長コラム ⑧

名付けの由来

仲地 博

「名前は親が子どもに送る最初のプレゼントだ」。先日の朝の連ドラの中のセリフである。「ほんとにそうだ」と妻がつぶやいた（と思う。もしかしたら、私の心のつぶやきだったのかも知れない）。

私は娘に彩子と名付けた。相当悩んだが、ただ「子」を付けたいとは最初から思っていた。当時すでに、○子は少數派の名前だった。ちなみに私の妻の名に「子」はつかない。彼女が生まれた70年前には、時代の先端を行つた名前だった。息子が生まれた。仲地家の名乗頭（名前の最初の一文字）の宗をつけるのはかなり固い方針だった。そのころ名乗頭を付ける風習は、ほとんど廢れていた。ちなみに私の名前に、宗の字はつかない。両親は慣習に囚われない考えの持ち主だった。

私の命名の作法には、古いものを大切にしたいという気持ち、流行り（はやり）には乗りたくないという若干の抵抗心があった。息子は、その子（私から見たら孫）に宗玄と命名した。江戸時代になつたような名前だが、キラキラ名前全盛の中で個性があつていい名だと、私は密かにつぶやいた。さて、わが沖縄大学である。なぜ創設者（嘉数昇先生）は、この大学に「沖縄」を冠したのか、沖縄に立地するからと沖縄大学と单纯に命名したのではない。創設者は、こう答えている。「私たちの郷土、この沖縄に愛情と誇りを持とうという意味が込められている」と。

親は、願いを込めて名前を付けたのだ。この願いは脈々と受け継がれて、今「地域共創の大学・未来共創の大学へ」と心新たに、二期目の学長職をスタートさせたいと思う。産み、そして60年間育ててきた先輩たち、その下で学んだ卒業生たちの思いを受け継ぎ、感謝し、未来に手渡したい。沖縄になくてはならぬ大学、沖縄に求められる大学へと、心新たに、二期目の学長職をスタートさせたいと思う。

新入生へのメッセージ



小さくても光り輝く
存在に
大学院現代沖縄研究科長
小西 吉呂



謙虚さと思いやり
人文学部長
王 志英



一生学び続けるための
土台をつくろう!
法経学部長
小野 啓子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
少子高齢化による人口の減少、新興国の成長、グローバル化の進行、AIの台頭など、日本を取り巻く状況は大きく変化しています。変化の多い時代を生き抜き、男女とも経済的に自立し、学び続け、個々のキャリアを築いていくために必要な基礎的な力を、これから約4年間でしっかり身につけてほしいと思っています。大学時代にいろんなチャレンジをし、経験知を増やし、社会に出るための準備をしてください。私たちもしっかりと応援していきます。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
少子高齢化による人口の減少、新興国の成長、グローバル化の進行、AIの台頭など、日本を取り巻く状況は大きく変化しています。変化の多い時代を生き抜き、男女とも経済的に自立し、学び続け、個々のキャリアを築いていくために必要な基礎的な力を、これから約4年間でしっかり身につけてほしいと思っています。大学時代にいろんなチャレンジをし、経験知を増やし、社会に出るための準備をしてください。私たちもしっかりと応援していきます。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
四年間という時間は、人生の中でほんの一瞬です。大学での学び、思索、出会いなど、人生には様々な出来事があります。どのような将来があなたを待っているかは自分次第の知識を吸収し、自分の財産にすることを期待します。思いやり、優しい気持ちをもつて人と出会い、友を作りましょう。それはあなたを成長させ、幸せに導くはずです。常に好奇心を持ち、積極的にチャレンジし、可能性を広げていけば、道は大いに開けるでしょう。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
少子高齢化による人口の減少、新興国の成長、グローバル化の進行、AIの台頭など、日本を取り巻く状況は大きく変化しています。変化の多い時代を生き抜き、男女とも経済的に自立し、学び続け、個々のキャリアを築いていくために必要な基礎的な力を、これから約4年間でしっかり身につけてほしいと思っています。大学時代にいろんなチャレンジをし、経験知を増やし、社会に出るための準備をしてください。私たちもしっかりと応援していきます。



二歩目

人文学部 国際コミュニケーション学科長
吉井 美知子



自存への誘い

法経学部 法経学科長
川崎 和治

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
これから始まる大学生生活をお楽しみください。各自歩していくために必要な力を身につけてください。これから受講する各々の講義が、その力の源になります。つづいていくと確信しています。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
少子高齢化による人口の減少、新興国の成長、グローバル化の進行、AIの台頭など、日本を取り巻く状況は大きく変化しています。変化の多い時代を生き抜き、男女とも経済的に自立し、学び続け、個々のキャリアを築いていくために必要な基礎的な力を、これから約4年間でしっかり身につけてほしいと思っています。大学時代にいろんなチャレンジをし、経験知を増やし、社会に出るための準備をしてください。私たちもしっかりと応援していきます。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
四年間という時間は、人生の中でほんの一瞬です。大学での学び、思索、出会いなど、人生には様々な出来事があります。どのような将来があなたを待っているかは自分次第の知識を吸収し、自分の財産にすることを期待します。思いやり、優しい気持ちをもつて人と出会い、友を作りましょう。それはあなたを成長させ、幸せに導くはずです。常に好奇心を持ち、積極的にチャレンジし、可能性を広げていけば、道は大いに開けるでしょう。



こども文化学科 第11期生の みなさんへ

人文学部 こども文化学科長
喜屋武 政勝



求めよ、捜せ、門をたたけ

人文学部 福祉文化学科長
久貝 興徳

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
世界を作るのは二歩目を踏み出したばかりの皆さんです。自由を満喫しつつ、責任ある大人に変身を。「国コム」がお手伝いします。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
世界を作るのは二歩目を踏み出したばかりの皆さんです。自由を満喫しつつ、責任ある大人に変身を。「国コム」がお手伝いします。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
世界一読まれている本は、聖書と言われています。その中で、「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門を開け、そうすれば、あけてもらえるであろう。(マタイによる福音書)」と言ふ聖句があります。皆さん、求め、探し、門を開いたから、今、ここ沖縄大学にいるのです。その積極的な姿勢を忘れず、成長し続けてください。教員一同応援しています。

お、奨学金受給者のうち（回答者の6割強）給付型の奨学金は僅か4%であるのに対し、貸与型は7割を超え、多数の学生が、卒業後、返済義務を負うことになる。さらに、「最低賃金を下回る」「深夜割増手当がつかない」「実際に働いた時間分の賃金を支払つてもらえない」何度も言つても辞め

学的背景とともに、それらを作り上げてきた文化・社会的な言説や文脈を読み解いていく必要がある。そうすることで、現代沖縄における労働問題に対する理論的・実践的アプローチを具体的に開示し、問い合わせ新たな議論や思考の提起につながればと思う。

以上との時間は、全国の倍か倍以上である。このうち、労働による費用や生活費、学業費など、生活費が大変困難な状況にある。

たとすれば「1日3時間近く」（独立行政法人日本学生支援機構「平成26年度学生生活調査」2016年）という全国平均値と比較する

現在、沖縄県の大学生のアルバイトに関する調査研究を行つてゐる。沖縄大学法経学部1年生を対象に調査を実施したところ、3分の1以上の回答者が週5日働くいており、週4日以上は7割近くに上る結果となつた。また、1日当たり5時間以上働いている学生は7割を超えた。「土日を除いて

「休みが取れない」「人が足りない」など、アルバイト学生をめぐる状況は極めて厳しい。しかし、このような状況の中、少なくない回答者が、「小中高大学で労働法を学ぶべきである」「現在の仕事は将来につながる」と答えていることを見るに、当事者たちは、批判的・現実的にこの社会と共に変えていく必要性と可能性を示唆しているようだと思われる。

戦後沖縄における 「働くこと」をめぐる 文化変容

法経学科教員(沖縄文化論)
成定 洋子



たゼミは、学部レベルで基礎演習 I・II、専門演習 a・b、専門演習 c・d の三つである。以降、基礎演習を中心にゼミ活動を紹介する。

The background of the entire slide is a lush, green grassy field. The sky above is a bright, clear blue with a few wispy white clouds. This natural setting provides a fresh and open atmosphere for the presentation.

梶村ゼミの紹介

こども文化学科教員(教育学) 樋村 光郎

名という学校の授業の見学や運動会へ今年度も参加した。運動会では学生全員が係りを担当して会の進行をサポートしたり、練習を重ねてきたエイサーを披露したりして運動会を盛り上げた。授業の見学の際には、北国小学校の現状についても話を聞いていたので、沖縄のへき地教育の状況などを把握すること

り、しおりを作成したりしての太宰府などへのゼミ旅行の実施など、教員に必要な力量の形成を意識した活動を行った。

私のゼミでは、4年次を除き毎年地域研究所が主催している琉球弧研究の企画にグループを作つて応募するが、今年度の基礎演習のゼミ生は宮古島の水問題に取り組んで地下ダムについて研究したり、宮古の創世にも関係する漲水御嶽とその伝説について研究したりした。これららの研究は、ゼミ活動の一環として進め、県立図書館や沖大図書館で資料収集をしたり、実際に宮古島に行き、関係者に聞き取り調査をしたりした。この他に、沖大付属小中学校という模擬授業や指導案の作

を訪問し、同校の食育指導・学力向上の取り組み・平和学習の取り組みについて調査を行った。また、指導案の作成や模擬授業の取り組みも行つたが、今帰仁村兼次小学校を訪問し、学校経営や学力向上、給食への参加や授業見学を行つた。

専門演習c・dには、8名所属進路の問題、教育実習・卒業論文の作成を中心にゼミ活動を行つた。教育実習を無事終え、全員卒業論文を完成させた。進路は、民間の会社に2名採用、教員採用試験は一次突破が2名という結果だつた。



全校児童1人の北国小学校の運動会に参加(2016年9月)

教員メッセージ の大学へ」向けて～

財政民主主義と沖縄



法経学科教員
(行政法)

岩垣
真人

私の専門領域は、行政法の中でも、財政法と言われる分野であり、財政に対する法的規律を分析することがその中心となつてゐる。財政法では、從来、いかにして財政の民主的コントロールを確立させるかということに主眼が置かれてきたが、世界的にポピュリズムと言われる政治的な風潮が強まってくるなかで、現在では、単純に民主主義に任せておくだけではいけないのではないか、という問い合わせ起きるようになつてきてゐる。例えば、トランプ新大統領は、財政・金融の専門家集団である連邦通貨準備制度理事会と対立を深めつつあるが、民主的正統性があるからといって、トランプ大統領のほうが正しいということにはならないのではないか、というような疑義である。

実は、このような民主主義の問い合わせは、沖縄の財政(と政治)にも大きく関係している。沖縄には、沖縄振興のための特別な税措置がしかれているが、以前と比較すると、その先行きは不透明になつてきている。国会で議決を行えば、47分の1にすぎない沖縄からの声では、その行く末を左右することは難しい。だが、声の大小で、そういつた経済・財政問題を決定してしまつて良いのだろうか。より専門的な知見を元に、冷静な議論が積み重ねられる必要があるだろう。沖縄の財政に関する分析を、他の県と比較しながら、どういった財政政策が望ましいのか、これから沖縄のありかたを考えいく、土台となるよう研究を行つて行きたい。

沖縄大学で民法を学ぶ意義



法経学科教員
(民法・情報提供義務
フランチャイズ契約)

矢島
秀和

私は、民法の中でも特にフランチャイズ契約を素材に情報提供義務を研究している。私が研究する民法は日常生活に密接に関わる法律である。極言すれば、民法は皆さんのが社会で生きていくのに必須の知識を提供してくれるるのである。従つて、民法は法学の中でも最も基本の法律と言え、ゆえに民法の學習は、法的思考力の養成に最適である。法的思考力は社会で日々生じる問題を考察するのに欠かせない。沖縄県は、在日米軍の問題をはじめ、法的に物事を考えるべき問題が身近にある県である。そうした沖縄県で民法を通じて法的思考力を身に付けることは、沖縄県の発展にとって必ず役立つと信じてゐる。すなわち、法的思考力を養うことで、沖縄県(ひいてはわが国)において生起する諸問題について皆さんが主体的な判断を下せるようになり、沖縄県の抱える問題を解決できると考えてゐる。

民法を通じて法的思考力を養うには、問題を他人事としてではなく自分のことと捉えるのが重要である。つまり、当事者意識が求められる。ところで、沖縄大学の理念の一つに「共創力」の涵養があるが、共創力の獲得には相手の問題を自分のこととして考えることが求められるのではないか。そうであれば、当事者意識をもつて民法を学習することは、この共創力を養うことにつながるだろう。

このように、ここ沖縄大学には民法を学ぶのに最適な環境があるといえる。講義やゼミの場で皆さんに会えるのを楽しみにしている。

地理学教育を通して地域社会貢献



法経学科教員
(地理学)

糸数
哲

今年度より、法経学部法経学科の専任教員として、地理学分野の教育・研究活動を行う。私は学部時代に地理学を専門とする研究室に所属し、沖縄の地理についても学んできた。大学院時代は、地理学分野の一つである水文学(“すいもんがく”と読む)に関する研究を行つてきた。地理学とは、自然環境や社会環境と人間生活(生活文化)との関わりを明らかにする学問である、古くて新しい分野である。地理学の講義では、地元沖縄の環境や生活文化に目を向け、課題解決の方策についても考えるため、地理学教育を通して地域社会を多角的・客観的に見る目を養い、地域社会に貢献する人材を育成していきたい。

私は沖縄県出身で、1972年生まれのいわゆる「復帰っ子」である。1972年は沖縄が日本に復帰した年であり、沖縄大学の存続運動が始まった年である。日本復帰の際に存続の危機に見舞われた沖縄大学だが、当時の学生や県民の支援(沖大存続運動)により、1974年に新生「沖縄大学」として設置認可を受け、現在(創立59年目)に至つてゐる。多くの県民に守られ、支えられてきた沖縄大学の教員として、教育や研究を通して直接的・間接的に地域社会に貢献し、県民に恩返しをしていきたいと考えている。そのため、学生とともに自分自身も成長し、共に地域を創り、共に未来を創つていく所存である。

2017年度 赴任 ～「地域共創・未来共創」

中琉関係史を学ぶ



法経学科教員
(中琉交流史)

前田 舟子

私が専門にしている分野は琉球王国時代の歴史である。中でも琉球と親交のあった中国(明清朝)、朝鮮、東南アジアとの交流の歴史を研究している。主に、中国を中心とする東アジア諸国の歴史史料を使って研究することから「中琉関係史」や「中琉交流史」と呼ばれる。この中琉交流史をテーマにした授業が沖縄大学に設置されている。それは、日本全国でも沖縄の大学にしかない珍しい授業である。沖縄の歴史、特に琉球王国時代に興味のある学生の皆さんにはぜひ受講してもらいたい。

では、中琉交流史はどのように研究するのか。まずは、琉球王国時代に、中国や東アジア世界で使用されていた漢文(中国語)史料を読み解く必要がある。その他にも、琉球や日本で使用された古い日本語(古文)の史料も読み解かなければならない。意外に思われるかも知れないが、琉球史研究は多言語を駆使した研究である。特に沖縄は、去る第二次世界大戦で多くの歴史史料を失ってしまった。戦後は、失われた史料の複写本が日本や中国、台湾などに残されていないか、それを探し出す作業から始まつた。こうして現在までに、多くの史料が発見されている。史料収集と解説が、研究にとっては大事な作業である。歴史史料を読み解くことで、ダイナミックな琉球王国の歴史を描くことができる。ぜひ、沖縄大学で歴史を学び、過去から未来を展望する視点を養つて欲しい。

沖縄大学から地域、そして世界へ



国際コミュニケーション学科教員
(英語教育)

天久 大輔

私は沖縄生まれ、宜野湾市出身。専門は英語教育の領域。これまで10年以上の間、高等学校における英語教育の発展のため、ささやかな実践ではあるが沖縄の発展に寄与してきた。

これからは、地域共創・未来共創の理念を持つ沖縄大学に共感し、グローバル社会で生き抜く人材育成と、次代を見据えた教師の育成に取り組みたい。特に、学生の英語力の実態に応じて、英語を学ぶ面白さ、教師として指導する面白さや学び続ける大切さを指導したい。学生達と多くを語り、共に学び、互いに切磋琢磨することで、これからのはばらしい未来へと学問を通して携わりたい。私の好きな格言に “I can accept failure, everyone fails at something. But I can't accept not trying.” (失敗をする)ことは耐えられるが、挑戦しないことは耐えられない)がある。英語学習も同じで、失敗を怖れず、常に挑戦する姿勢が重要である。これは英語習得に限らず、人生においても好奇心を常に持ち続けることが大切だと捉える。

私は、沖縄そして世界で活躍できる人材を沖縄大学で育成することを自らの使命としたい。沖縄大学がこれから挑戦する教育活動に賛同し、貢献していきたい。そして英語教育の研究及び英語指導に力を注ぐ決意である。これから学生、教職員の方々、そして地域の皆様との出会いを楽しみにしている。

実践力ある人材の育成へ向けて



福祉文化学科教員
(社会福祉、実習指導)

見城 育夫

創立60周年を迎える節目の年を前にして、専任教員として新規に採用いただいたことを心より光栄に感じている。

福祉実習に関連した実習事前・事後指導科目と、座学で学んだ知識と福祉現場での実践をつなぐ役割を含んだロールプレイングやグループワークを中心とした演習科目を担当させていただくが、これらの科目群は私自身の研究分野でもある。

研究者としてはまだ未熟であり、今後長い時間を開けて研鑽を積んでいかなくてはならないと感じている。また、学生教育・多様な意味での学生サポートに関してとても強い熱意をもつた教員の一人であること自覚している。入学に際しては多様な動機・目的等があつたと思われるが、多くの進路選択の中で本学への入学を決断して下さった学生の皆さんに対しても、いつも真摯な態度で、丁寧に対応したい。そして、本学を卒業した後、それぞれの地域に活躍の場を求める中において、本学での学びを、時には困難を乗り越えるための、時には更なる飛躍を遂げるための手立てとして活かしていただければ本望である。

私自身、学生の皆さんとしっかりと向き合い、自分の研究課題に真摯に取り組むことで、地域社会に貢献できるような実践力のある人材を育成していくたいと考える。更には、教育・研究・地域貢献というキーワードを常に意識して自身の職務を全うする中から自身の人間的な成長につなげていきたいと考えている。

学生インタビュー①

小さな小学校で、働きたい。

名嘉 帆希さん こども文化学科4年（名護高校卒）

伊是名島出身で教員志望の名嘉帆希さんに、
へき地教育への思いを聞きました。

——嘉数界記念賞、おめでとうございます。「私たちの郷土、この沖縄に愛情と誇りを持とう」という意味を込めて「沖縄大学」と名付けた創設者の賞です。

嬉しいです。卒業式では琉装して表彰に臨みたいと思います。でも、そんな賞をいただいていいの？ という感じです。賞の趣旨を知った時、恥ずかしかつたです。

——恥ずかしかつた？

1、2年の時がダメ人間だったので、賞に値するのかなと。でも、ゼミの池間生子先生が推薦してくれたと聞いて、今まで自分が関わってきた企画や運営を見てくれば、嬉しいかったです。

——ダメ人間とは？

伊是名島の出身なんですが、那覇で一人暮らし始めたて、楽しくて、楽しくて。

——なるほど。

入学式の翌日から、同じ学科の1年生で毎晩遊んでいました。2年生の前期までバイトをし、夜遊ぶのは当たり前で、他のメンバーはちゃんと朝起きて授業に出るんですけど、自分は初めての一人暮らしなので朝は全然起きられない。1限目の授業に行

けない。2限も3限も行けないと、いう事態に直面しました。それでも学科の行事には行っていたという、ちょっとダメ人間でした。

——行事は好き。

行事では1年の時からみんな前に立つて、先輩からの連絡も自分が受け、みんなに流す役割でした。

初めの頃はみんなついて来てくれたのが、半年くらい経つて「あれ？」と思うようになり、そのうち僕が流したラインに返事が来なくなりました。しばらく悶々としていたら、2年になって、女友達なんですが3名に「あんたがやってること間違ってる」とて言われたんです。「夜はバイト、遊びでばっかりで、朝の授業に来ないなんて、ありえない」と、「行事の連絡をしたって、誰も答えるわけないさ」って言わされました。

確かに授業も5つ以上落として、それで当たり前のように行なっているんですけど、「表向きはいい顔しても、見えてない部分ができるない」とガツンと言われたんです。授業を休んだり、出ても寝ていたりする俺が前に立つてもみんなを引っ張つていけないなど、自分がやつていたことが恥ずかしくなって、それから意識を変えました。

——マジメ人間になつた？

伊是名島の出身なんですが、那覇で一人暮らし始めたて、楽しくて、楽しくて。

——教員志望で沖大に？

伊是名島で過ごした小学校の原体験があると思うのですが、

オープニングキャンパスに何度も来たんですが、小さい大学の雰囲気が気に入りました。いろんな人と関われるし、いろんなことに挑戦できると思って。学科タイムでも教員を目指している先輩方が笑顔で盛り上げてくれて、1、2回目のオープニングキャンパスでは半信半疑でしたが、3、4回目も先輩方が笑顔で、それで本当に笑顔なのかな。

——小さな雰囲気が気に入つた。

伊是名島で過ごした小学校の原体験があると思うのですが、

——自身を振り返ると？

そうですね、若い先生が他の役職も持つて働くんです。やらなきやいけない仕事が沢山ある

本当に変わろうと思つて、夜のバイトを辞めました。夜はちょっと遊ぶんですけど24時には寝て、朝起きて、1限目の授業に出る

んですけど、頑張りました。3年になると授業は少なくなるはずですが、自分は詰め詰め。当たり前のこと気に気づかてくれた3人のおかげで、今の自分がいるなど卒業できるし、教員免許も取ることができました。もしもその3人の言葉がなく、バイトと遊び親に合わせる顔がなかつたはずです。それまで、そんなふうに言つてくれる人はいなかつたのです。こういうのが友達なんだ。

小さな学校ならではの良さといふのがあると思います。

自分が育つたへき地の学校では、生徒が少ない分、一人ひとりが活躍できます。だから、一人ひとりが活躍できることに気づいていて、このことは卒論でも書きました。

——卒論はどんなテーマで？

へき地教育をテーマに、自分が受けた教育を振り返つて、誇りを持てるようなへき地教育の在り方を提言しました。

へき地には若くて経験の浅い先生が外から来るイメージを持つていましたが、実態を調べる

とその通り、アンケートの回答では勤続10年未満の若い教師が半数でした。5～6年目の先生

が多かつたですね。公立学校の教職員人事異動方針というのが

あって、初回の異動先は、原則へき地の学校に転任することになつてます。でも、僕はそ

れに疑問を持っていて、なんといふか、へき地の子ども達に不利になつてます。でも、僕はそ

れに経験を積んでからへき地の学校で教えてほしい。

ので、子供もと深く関われない。若い先生は新鮮ですが、過ごしていく中で前の先生と比べてしまふんですね。僕もそうでしたけど、へき地の学校の子どもにはそういうところがあつて、物足りないと感じてしまつたら、そこで終わっちゃう。そういうことが多いんです。

だから、若い先生が仕事に追われて、子どもと関われないのは、互いに不幸だと思います。

ーどのような小学生生活を?

小学校1年から6年まで、毎回新任の先生が担任だつたので、いつもどんな先生かなつて様子を見ていたのですが、4年の時の担任が僕を教えてくれました。それまで遊ぶことに夢中で、学校生活を怠けていたんだけど。

ー4年生の担任、どんな先生でしたか?

I先生は50歳で伊是名小学校へ赴任して來たので、たくさん経験を積んでいたと思います。「この先生いいな」って初めて気に入った先生で、放課後も一緒に残つて「勉強しようか」と、いつも寄り添つてくれました。いつの間にか、家に帰つたら勉強しようつて思うようになつていきましたね。

授業は、始めの挨拶がなくて、「なんで私に、お願ひしますつて言うの?」「一緒に勉強しよう」つて

去年6月に伊是名小学校で教育実習をした時にも、I先生は基地問題の活動で忙しいはずなのに、2日間くらい都合つけて来

て、そんなことを言う人でした。いつも平和について話をして、朝の会では平和の歌をみんなで合唱したり、世の中のことや戦争のこと、4年生の僕らには難しくてぽかんとしてしまつることでも、熱く語っていました。今思い返しても、伝えたいと思っていることを本気で話してくれるI先生は、他の先生とは違つていました。社会の授業として世の中のことを学ぶより、I先生が話していると心に響くというか、小学生には難しい内容でも、先生の世界観に僕も入つていきました。

へき地は離島が多いですが、その島に根づいた文化というのはすごいと思うんです。琉球王国第二尚氏の尚円王を生んだ伊是名島の歴史も誇れるものです。琉球王3年の時に学科の友人達と一緒に職を目指すなら地域の歴史を学んだ上で子ども達に接することが大切じゃないかと話し合つて、伊是名島の祭りに合わせて小学校で歴史劇をさせてもらつたことがあります。この企画では、地元の歴史が注目されていることに子ども達が気づくと、何かい合つてくれる教師になりたいと思つたんです。

「成人式に来るからね」と言って、I先生は2年で伊是名島を去りました。そうしたら「昨年の成人式に、伊是名島は1月1日に式典があるんですけど、前日の大晦日から島に来てくれて、同級生たちと一緒に飲みながらカウントダウンをして、新年を迎えるました。

ー今後は。

臨時で大きな小学校を経験しながら勉強を続け、本採用になつたら小さな学校で働きたい。

(2月24日聞き手 経営企画室 後藤)

てくれました。僕の授業も見てくれて、アドバイスしてくれました。I先生に教わったクラスの出身者には、教職を目指している人が多いです。僕を含めて4名が教職を志望しています。

ー「誇りを持てるへき地教育」という考え方持つた。

へき地は離島が多いですが、その島に根づいた文化というの

はすごいと思うんです。琉球王

3年の時に学科の友人達と一緒に職を目指すなら地域の歴史を学んだ上で子ども達に接することが大切じゃないかと話し合つて、伊是名島の祭りに合わせて小学校で歴史劇をさせてもらつたことがあります。この企画では、地元の歴史が注目されていることに子ども達が気づくと、何かが変わつていきそうに思いました。

初めて社会人として働いた職場では、「仕事に対する自分の意識の低さ」を先輩にも指摘され、たやすく叱咤激励をいたいたことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、「何で自分が悪いのか? あの人気が悪いのではないか?」と人のせいにばかりして、自分の非を認

められないような時期もありまし

た。しかし、様々な人と出会い、話を

聞く機会になつていて、自分自身が

変わつて、行動や言動が変化していき

ました。当時、たくさん私を叱つて

くれた先輩とは今では家族ぐるみ

のお付き合いをさせていただいて

います。いくら感謝してもしきれません。

皆さんは、沖縄大学の「就職支援課」を訪ねたことはありますか?

皆さんのが卒業後、希望する進路に

進めるようにサポートしていく部

署です。具体的には、履歴書の添削

や模擬面接、セミナーなども行つて

います。

「就職」といっても、なかなかイメージできず、不安を抱いています。私も

沖縄大学で働くまでは、正社員として「就職」できるか不安でした。臨時職員として、様々な教育現場で働きながら、試験勉強をする毎日を過ごしていました。

初めて社会人として働いた職場では、「仕事に対する自分の意識の低さ」を先輩にも指摘され、たやすく叱咤激励をいたいたことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、「何で自分が悪いのか? あの人気が悪いのではないか?」と人のせいにばかりして、自分の非を認

められないような時期もありまし

た。しかし、様々な人と出会い、話を

聞く機会になつていて、自分自身が

変わつて、行動や言動が変化していき

ました。当時、たくさん私を叱つて

くれた先輩とは今では家族ぐるみ

のお付き合いをさせていただいて

います。いくら感謝してもしきれません。

皆さんは、沖縄大学の「就職支援課」を訪ねたことはありますか?

皆さんのが卒業後、希望する進路に

進めるようにサポートしていく部

署です。具体的には、履歴書の添削

や模擬面接、セミナーなども行つて

います。

「就職」といっても、なかなかイメージできず、不安を抱いています。私も

沖縄大学で働くまでは、正社員として「就職」できるか不安でした。臨時職員として、様々な教育現場で働きながら、試験勉強をする毎日を過ごしていました。

初めて社会人として働いた職場では、「仕事に対する自分の意識の低さ」を先輩にも指摘され、たやすく叱咤激励をいたいたことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、「何で自分が悪いのか? あの人気が悪いのではないか?」と人のせいにばかりして、自分の非を認

められないような時期もありまし

た。しかし、様々な人と出会い、話を

聞く機会になつていて、自分自身が

変わつて、行動や言動が変化していき

ました。当時、たくさん私を叱つて

くれた先輩とは今では家族ぐるみ

のお付き合いをさせていただいて

います。いくら感謝してもしきれません。

皆さんは、沖縄大学の「就職支援課」を訪ねたことはありますか?

皆さんのが卒業後、希望する進路に

進めるようにサポートしていく部

署です。具体的には、履歴書の添削

や模擬面接、セミナーなども行つて

います。

「就職」といっても、なかなかイメージできず、不安を抱いています。私も

沖縄大学で働くまでは、正社員として「就職」できるか不安でした。臨時職員として、様々な教育現場で働きながら、試験勉強をする毎日を過ごしていました。

初めて社会人として働いた職場では、「仕事に対する自分の意識の低さ」を先輩にも指摘され、たやすく叱咤激励をいたいたことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、「何で自分が悪いのか? あの人気が悪いのではないか?」と人のせいにばかりして、自分の非を認

められないような時期もありまし

た。しかし、様々な人と出会い、話を

聞く機会になつていて、自分自身が

変わつて、行動や言動が変化していき

ました。当時、たくさん私を叱つて

くれた先輩とは今では家族ぐるみ

のお付き合いをさせていただいて

います。いくら感謝してもしきれません。

皆さんは、沖縄大学の「就職支援課」を訪ねたことはありますか?

皆さんのが卒業後、希望する進路に

進めるようにサポートしていく部

署です。具体的には、履歴書の添削

や模擬面接、セミナーなども行つて

います。

「就職」といっても、なかなかイメージできず、不安を抱いています。私も

沖縄大学で働くまでは、正社員として「就職」できるか不安でした。臨時職員として、様々な教育現場で働きながら、試験勉強をする毎日を過ごしていました。

初めて社会人として働いた職場では、「仕事に対する自分の意識の低さ」を先輩にも指摘され、たやすく叱咤激励をいたいたことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、「何で自分が悪いのか? あの人気が悪いのではないか?」と人のせいにばかりして、自分の非を認

められないような時期もありまし

た。しかし、様々な人と出会い、話を

聞く機会になつていて、自分自身が

変わつて、行動や言動が変化していき

ました。当時、たくさん私を叱つて

くれた先輩とは今では家族ぐるみ

のお付き合いをさせていただいて

います。いくら感謝してもしきれません。

皆さんは、沖縄大学の「就職支援課」を訪ねたことはありますか?

皆さんのが卒業後、希望する進路に

進めるようにサポートしていく部

署です。具体的には、履歴書の添削

や模擬面接、セミナーなども行つて

います。

「就職」といっても、なかなかイメージできず、不安を抱いています。私も

沖縄大学で働くまでは、正社員として「就職」できるか不安でした。臨時職員として、様々な教育現場で働きながら、試験勉強をする毎日を過ごしていました。

初めて社会人として働いた職場では、「仕事に対する自分の意識の低さ」を先輩にも指摘され、たやすく叱咤激励をいたいたことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、「何で自分が悪いのか? あの人気が悪いのではないか?」と人のせいにばかりして、自分の非を認

められないような時期もありまし

た。しかし、様々な人と出会い、話を

聞く機会になつていて、自分自身が

変わつて、行動や言動が変化していき

ました。当時、たくさん私を叱つて

くれた先輩とは今では家族ぐるみ

のお付き合いをさせていただいて

います。いくら感謝してもしきれません。

皆さんは、沖縄大学の「就職支援課」を訪ねたことはありますか?

皆さんのが卒業後、希望する進路に

進めるようにサポートしていく部

署です。具体的には、履歴書の添削

や模擬面接、セミナーなども行つて

います。

「就職」といっても、なかなかイメージできず、不安を抱いています。私も

沖縄大学で働くまでは、正社員として「就職」できるか不安でした。臨時職員として、様々な教育現場で働きながら、試験勉強をする毎日を過ごしていました。

初めて社会人として働いた職場では、「仕事に対する自分の意識の低さ」を先輩にも指摘され、たやすく叱咤激励をいたいたことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、「何で自分が悪いのか? あの人気が悪いのではないか?」と人のせいにばかりして、自分の非を認

められないような時期もありまし

た。しかし、様々な人と出会い、話を

聞く機会になつていて、自分自身が

変わつて、行動や言動が変化していき

ました。当時、たくさん私を叱つて

くれた先輩とは今では家族ぐるみ

のお付き合いをさせていただいて

います。いくら感謝してもしきれません。

皆さんは、沖縄大学の「就職支援課」を訪ねたことはありますか?

皆さんのが卒業後、希望する進路に

進めるようにサポートしていく部

署です。具体的には、履歴書の添削

や模擬面接、セミナーなども行つて

います。

「就職」といっても、なかなかイメージできず、不安を抱いています。私も

沖縄大学で働くまでは、正社員として「就職」できるか不安でした。臨時職員として、様々な教育現場で働きながら、試験勉強をする毎日を過ごしていました。

初めて社会人として働いた職場では、「仕事に対する自分の意識の低さ」を先輩にも指摘され、たやすく叱咤激励をいたいたことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、「何で自分が悪いのか? あの人気が悪いのではないか?」と人のせいにばかりして、自分の非を認

められないような時期もありまし

た。しかし、様々な人と出会い、話を

聞く機会になつていて、自分自身が

変わつて、行動や言動が変化していき

ました。当時、たくさん私を叱つて

くれた先輩とは今では家族ぐるみ

のお付き合いをさせていただいて

います。いくら感謝してもしきれません。

皆さんは、沖縄大学の「就職支援課」を訪ねたことはありますか?

皆さんのが卒業後、希望する進路に

進めるようにサポートしていく部

署です。具体的には、履歴書の添削

や模擬面接、セミナーなども行つて

います。

「就職」といっても、なかなかイメージできず、不安を抱いています。私も

沖縄大学で働くまでは、正社員として「就職」できるか不安でした。臨時職員として、様々な教育現場で働きながら、試験勉強をする毎日を過ごしていました。

初めて社会人として働いた職場では、「仕事に対する自分の意識の低さ」を先輩にも指摘され、たやすく叱咤激励をいたいたことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、「何で自分が悪いのか? あの人気が悪いのではないか?」と人のせいにばかりして、自分の非を認

められないような時期もありまし

た。しかし、様々な人と出会い、話を

聞く機会になつていて、自分自身が

変わつて、行動や言動が変化していき

ました。当時、たくさん私を叱つて

くれた先輩とは今では家族ぐるみ

のお付き合いをさせていただいて

います。いくら感謝してもしきれません。

皆さんは、沖縄大学の「就職支援課」を訪ねたことはありますか?

皆さんのが卒業後、希望する進路に

進めるようにサポートしていく部

署です。具体的には、履歴書の添削

や模擬面接、セミナーなども行つて

います。

「就職」といっても、なかなかイメージできず、不安を抱いています。私も

沖縄大学で働くまでは、正社員として「就職」できるか不安でした。臨時職員として、様々な教育現場で働きながら、試験勉強をする毎日を過ごしていました。

初めて社会人として働いた職場では、「仕事に対する自分の意識の低さ」を先輩にも指摘され、たやすく叱咤激励をいたいたことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、「何で自分が悪いのか? あの人気が悪いのではないか?」と人のせいにばかりして、自分の非を認

められないような時期もありまし

た。しかし、様々な人と出会い、話を

聞く機会になつていて、自分自身が

変わつて、行動や言動が変化していき

ました。当時、たくさん私を叱つて

くれた先輩とは今では家族ぐるみ

のお付き合いをさせていただいて

います。いくら感謝してもしきれません。

皆さんは、沖縄大学の「就職支援課」を訪ねたことはありますか?

皆さんのが卒業後、希望する進路に

進めるようにサポートしていく部

署です。具体的には、履歴書の添削

や模擬面接、セミナーなども行つて

います。

「就職」といっても、なかなかイメージできず、不安を抱いています。私も

沖縄大学で働くまでは、正社員として「就職」できるか不安でした。臨時職員として、様々な教育現場で働きながら、試験勉強をする毎日を過ごしていました。

初めて社会人として働いた職場では、「仕事に対する自分の意識の低さ」を先輩にも指摘され、たやすく叱咤激励をいたいたことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、「何で自分が悪いのか? あの人気が悪いのではないか?」と人のせいにばかりして、自分の非を認

められないような時期もありまし

た。しかし、様々な人と出会い、話を

聞く機会になつていて、自分自身が

変わつて、行動や言動が変化していき

ました。当時、たくさん私を叱つて

くれた先輩とは今では家族ぐるみ

のお付き合いをさせていただいて

います。いくら感謝してもしきれません。



学生インタビュー②

継続してやるということが、私には一番向いているんだなと思いました。

我那覇みなみさん 法経学科4年（知念高校卒）

2015年度伊藤わらび冠奨学金授与、2016年度法経学部長賞受賞。
卒業後は、地元の南城市役所で働く我那覇みなみさんに、学生生活を振り返っていただきました。

ー 知念高校から沖大に入学されました。

こういう仕事がしたいからこの大学へという明確な考えはなかったのですが、法律を勉強してみようと思いました。法律は初めて習うので、一から勉強するんだつたら自分にもできるかなと。法律も経済も一緒に勉強できるということです、法経学科に興味が湧いたんだと思います。

最初は全く知り合いがいなくて、オリエンテーションで一人になってしまったんです。でも、もう一人そういう子がいて、その子と初めて友達になりました。そのあと何かのタイミングで知り合ったハイテンションの2人組の友人と一緒になって、4人で勉強するようになりました。

何か行動を起こすのは友人が先で、私はついて行くタイプ。「やろっ」と言われて「じゃあやる」っていうふうに。

ー 積極的な友人ができるた。

大教室で授業を受ける時、私達4人はいつも前の方に座っていたんです。前から4列目ぐらいまでに。それも友人が始めたことでしょ。本当は後ろの方に座りたいんですけど、でも友人達の真似をしてずつと前に座つていたら、それが当たり前になってしまったんです。

授業はとてもわかりやすく、聞いていれば理解できました。難しい授業もありましたが、友人達と一緒に復習していくので、お互いに質問をして、誰かが答えるんですよ。4人もいるので、誰かがわかつてないで、ハッと思い出したりするものだな。試験前は、そうやってひと

ー 熱心に授業を受けたんですね。

授業では、頭に入ながらメモを取りました。プリントが配られたら余白にびつちり書き込むくらい。先生の余談もメモしたり。あと

ー 法律の勉強は期待通りでしたか？

特に民法が面白かったです。民法は生活に近くて、売買や賃貸借は興味深いです。授業は説明がとても丁寧で、配布資料もわかりやすかったです。ゼミでは、最高裁判で争われた大きな判例をグループで調べて、発表するというのをずっとやっていました。

調べた事件で一番多かったのが債権（人にに対する権利）の分野でした。民事訴訟のほとんどは損害賠償が関わるので、損害賠償や不法行為の要件を調べる機会が多く、あとはそれぞれ事件ごとに関連法を調べていました。

ゼミはグループで動くので、メンバー同士で、発表する時にどう言えばわかりやすい説明になるか、どうすれば見やすい資料になるかなどたくさん話し合いました。何度も繰り返すうちに、（事件を）客観的に見る力、（人に伝えるために）相手の立場で考える力がついたと思います。メンバー間での話し合いで、コミュニケーション力も多少はついたと思います。資料作りにはけつこう苦労するのですが、わかりやすいと言つてもらえると達成感があり、それが楽しかったです。3年生で単位は全部取り終

行つたことがあります。その時は「とりあえず食べて」ということでご馳走になり、次の週から手伝うことになったんです。

ー 法律の勉強は期待通りでしたか？

科目ずつぶすみたいな。私の場合は、友人達と一緒に勉強するのが一番頭に入りました。

わっていたので4年で取らなくてもよかつたんですけど、民法のゼミは続けて取りました。大学に来るのが楽しかったですね。

ー サークル活動などは？

2年生の時、友人に誘われて社会貢献部に入りました。

沖大の近くに、百金食堂という真地団地自治会が取り組んでいる

地域のふれあい活動があつて、社会貢献部のメンバーで話を伺いに行つたことがあります。その時は「とりあえず食べて」ということでご馳走になり、次の週から手伝うことになったんです。

ー 百金食堂でボランティアを。

毎週金曜日に百円でランチを食べながら、みんなでゆんたくを楽しめる場所です。団地に住む方々もだんだん高齢化してきていて、食事を一人で食べる”個食”が進んでいました。これが孤独を感じてしまう孤食につながってしまうのを防ぐために、6年前に自治会が始めたそうです。食堂の利用者は毎週だいたい60名ほどです。

ー どのような仕事を？

団地の方々10名くらいのボランティアの中に私達学生が紛れています。メンバー間での話たりするんですけど、来て、顔出して、「ここにちはー」と言って、適当に様子を見てお茶入れたり、配膳したり、洗い物や掃除とかも。特

に役割が決まつてゐるわけではありません。最初は言われたことを手伝いましたが、今は「あ、来たのじゃあよろしく」というふうに、自分で仕事を見つけてやるという感じになつていますね。その時々でやることは変わるものですが、最近は一人で行つて、そこにいる人たちと交わつています。

高齢の利用者さんが多いのですが、初めの頃は「授業で來てるの?」と聞かれて、「いえ、違います」と聞かれて、「法経学科です」と。それで不思議そうな顔をされました。「出身どこ?」と聞かれて、「南城市です」と。団地の住人でもないし、那覇市民でもないし、福祉でもないし、単位取りに來たわけでもないし、不思議そうな感じでしたね。最初は(笑) そう言われたら、そ うだなと思いました。なんで來ているんだろうと。

一通り続けるのは?

就職活動の方は?

3年生になつたくらいから公務員というのを考えいて、3年の夏休みに南城市でインターンシップをさせていただきました。市町村で受け入れるメニューは用意されていないと思いますが、友人に誘われて就職支援課の窓口に行き地元の南城市で働きたいという話をしたと思います。それで職員のKさんが南城市に掛け合ってくださいました。それから一緒に南城市役所に行って、人事の方と打ち合わせをしてくださいました。

5日間のインターニンシップで南市の仕事をやりがいがあるだろうなと感じました。職員さん達も楽しそうに仕事をしていて、「市民のためにやるんだよ」とみんな言つていました。田園整備課の方達が特にハイテンションで、楽しそうな方がいっぱいいましたね。いろんな話を聞いたんですけどここで働けたらいいなと。「絶対、ここ入ろう」と思いながら仕事の体験をさせていただきました。

「なんというか、安心して話せそうな人ですよ。ところで公務員を志望したのは?」

高校も大学も流れで入つて、そんなに苦労してこなかった気がしてしまった。特別に勉強しなくともどうにかなってきた、みたいな。まじめにやつていればこれくらいはできるでしよう、というくらいの所にいたというか。それで、自分の力でどうにかしたことがないなって。

がいっぱいいるんです。自分はテンション低いだろうなと、静かな私と話していく楽しいのかなと思つたりするんですけど、相手も意外と楽しそうにしてるので大丈夫なんだなと。

— なんというか、安心して話せそうな人ですよ。ところで公務員を志望したのは?

高校も大学も流れで入つて、そんなに苦労してこなかつた気がしていました。特別に勉強しなくてもどうにかなつてきた、みたいな。まさにやつていればこれくらいはできるでしよう、というくらいの所にいたというか。それで、自分の力でどうにかしたことがないなつて。

— 公務員試験はそういうわけにはいかない。

やらなかつたら落ちるし、自分にかかるつているじゃないですか。そういうながら勉強していました。

— 自分に挑戦した。

途中で止めたらまた一緒だな、と一一日の勉強時間は?

8時間から長い時は10時間。図書館だつたりゼミ室だつたり、授業が休みの期間はどこも静かなのでホワイ工のテーブル、多目的学習室、生協前のカウンター、あちこちで勉強していました。勉強するのが当たり前になるまで、体が慣

勉強は順調に?

試験に受かるかなという不安はあつたんですけど、気を緩めないかのようにしていました。できないかもしれないと、そんなふうに考えていても今やっている勉強が頭に入らないので、そういうのはいつたん置いといて。自信はないけど、とにかくやるという感じでした。

一見事、受かりましたね。

人と争ったのは、今回の公務員試験くらいです。(笑)

そんなにやわではないことに最近気づきました。子どもの頃は小心者だったんです。高校、大学でできた友人に影響を受けたと思うんですけど、特に大学で仲良くなつた友人はポジティブですね。「ますやつてみよー」みたいな。そういう誘いについて行つたのが、私に足りない行動力を補つてくれました。考え方も、友人の「まあ大丈夫でしょ」というスタンスに影響を受けました。

大学に入つて、私のきつかけになつてくれる友人達が、「もつと自信持つていい」と言つてくれるんですね。「みなみはあと自信だけだよな」「だつてできるもん」と。それは自分では気づかないというか、「これできているのかな」これ自分にできるのかな」という考え方になる

— 友人に恵まれて、今後進む道も
見えてきて良かつたですね。

要領のいい方ではないんですけど、自信が持てる部分は探しめたんですね。あとは考え方でどうにかなるのかなと。そういう意味で、大学に入つて一番変わつたのはやっぱり考え方だと思います。やはりずっとやつていれば自分の力にはなるなど、継続してやつたら大丈夫っていうことを、ある意味自分で証明できました。試験もそうですね、テニスやイラストも趣味で続けていることには今自信があるので、継続してやるということが、私には一番向いているんだなと思いました。

—「継続は力なり」

続けるのって、エネルギー要りますよね。でも、財産にはなると田舎います。ボランティアを続けて知り合いになつた人達や、あの空間とか。続けてないと得られないものですね。

「継続は力なり」

続けるのって、エネルギー要りますよね。でも、財産にはなると田います。ボランティアを続けて知り合いになつた人達や、あの空間とか。続けてないと得られないものですね。

—ハイテンションの人と気が合うんですね。

「民のためにやるんだよ」とみんな
言っていました。田園整備課の方
達が特にハイテンションで、樂し
そうな方がいっぱいいましたね。い
ろんな話を聞いたんですけど、こ
こで働けたらいいなと。「絶対、ここ
入ろう」と思いながら仕事の体験
をさせていただきました。

—自分に挑戦した。
途中で止めたらまた一緒に、と
—1日の勉強時間は?

8時間から長い時は10時間。図書館、だつたりゼミ室、だつたり、授業が休みの期間はどこも静かなのでホワイ工のテーブル、多目的学習室、生協前のカウンター、あちこちで勉強していました。勉強するのが当たり前になるまで、体が慣

けました。

大学に入つて、私のきつかけになつてくれる友人達が「もっと自信持つていい」と言つてくれるんですね。『みなみはあと自信だけだよね』だつてできるもん」と。それは自分では気づかないというか、「これできているのかな」「これ、自分にできるのかな」という考え方になる

「シヨ」というスタンスに影響を受けてゐる。

ない行動力を補つてくれました。考え方も、友人の「まあ大丈夫でしょ」というスタンスに影響を受けました。

続けるのって、エネルギーをりますよね。でも、財産にはなると困ります。ボランティアを続けて知り合いになつた人達や、あの空間とか。続けてないと得られないものですね。

続けるのって、エネルギー要りますよね。でも、財産にはなると田います。ボランティアを続けて知り合いになつた人達や、あの空間とか。続けてないと得られないものですね。



3月10日、2016年度卒業式・修了式が那覇市民体育館で挙行されました。法経学部で人文学部を卒業して学士の学位を得た447名の皆さん、大学院現代沖縄研究科を修了し修士の学位を取得された7名の皆さん、誠におめでとうございます。

沖縄大学は、1958年まだ戦争の傷跡が残る頃、沖縄最初の私立大学として嘉数昇先生によって創設されました。その基本理念は、一つに「教育の機会均等」、一つに「日本人教育」、一つに「沖縄の発展の強力な鍵となる人材育成」です。「日本教育」という方針には、現状を無批判に肯定し追従するのではなく、自分達のあり方は自分達が決めるという自立の思想が込められていきました。

沖縄大学の50周年の際、「小さな大学の大きな挑戦」と題する書籍が出版されました。この本は、この三つの基本理念を、こう評価しております。「アメリカの異民族支配下にあっても日本人



学長告辭

(抄録)

学長 仲地 博

沖縄大学の誕生

沖縄大学は、県内10の高等教育機関の中で琉球大学に次ぐ歴史を持つ古い大学です。全国的にみると小規模ですが、しかし、小さくてもきらりと光る大学であることを誇りしております。

きらりと光る大学

沖縄大学は、文部科学省の事業である、私立大学研究プランディング事業と私立大学等改革総合支援事業の二つの事業を実施する大学として採択されました。

沖縄大学は、教育研究の理念を明らかにするものとして沖縄大学憲章を定めています。その冒頭で次のように述べてあります。

皆さんは、今日、晴れて学士の、あるいは修士の学位を授与され、人生の一つの節目を作りました。厳しく変化する時代に雄々しく立ち向かって欲しい、そのことを心から願つて、私の告辞とします。皆さんのご健闘とご多幸をお祈りします。

沖縄大学は、県内10の高等教育機関の中で琉球大学に次ぐ歴史を持つ古い大学です。全国的にみると小規模ですが、しかし、小さくてもきらりと光る大学であることを誇りにしております。

沖縄大学は、教育研究の理念を明らかにするものとして沖縄大学憲章を定めています。その冒頭で次のように述べてあります。

皆さんは、今日、晴れて学士の、あるいは修士の学位を授与され、人生の一つの節目を作りました。厳しく変化する時代に雄々しく立ち向かって欲しい、そのことを心から願つて、私の告辞とします。皆さんのご健闘とご多幸をお祈りします。

としての沖縄人という精神的バックボーンを失わず、逆境を改め変えていける意気と能力をもつた優秀な人間の育成が学園の目標とされたのである」と。それから59年、沖縄大学は、沖縄になくてはならない大学として歴史を刻み、二万数千人の人材を送り出しました。

前回では、沖縄大学が掲げた研究テーマは「沖縄型福祉社会の創造」ユイマールから包摂へ」です。二つ目の事業が、私立大学等改革総合支援事業です。例えば、学生の主体的な学修を取り組む大学を文部科学省が支援する事業です。沖縄大学は、全学的に教育の改善に取り組み一定の成果を上げていることが評価されたのです。

沖縄大学は、改革総合支援事業で研究が、全国水準で評価されたのです。きらりと光る大学といふことをご理解いただけたと思います。

皆さんは、こういう大学で学んだことを今一度確認し、誇りとして下さい。沖縄大学が送り出す地域共創の人材とは、「他者との対話と協働を通じてより良い社会を創つていく力のある人間」、「日々変動する社会の中で生涯学び続ける意思を持ち、自らの人生を切り開くことのできる人間」です。地域共創・未来共創の担い手として皆さんを送り出します。

皆さんは、今日、晴れて学士の、あるいは修士の学位を授与され、人生の一つの節目を作りました。厳しく変化する時代に雄々しく立ち向かって欲しい、そのことを心から願つて、私の告辞とします。皆さんのご健闘とご多幸をお祈りします。

在校生送辞

(抄録)

在校生代表 法経学部法経学科3年

比嘉 祥太 (小禄高校卒)

この春の良き日に、晴れて旅立ちを迎えた4年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

先輩方はこの4年間で、講義をはじめ、サークル活動・資格試験・そして就職活動といった多種多様な活動に励んでこられました。特にサークル活動や資格試験においては、華々しい実績を残された方もいらっしゃいました。これらの活動に取り組む過程で、多くの知識や教養を得るとともに、素晴らしい出会いや経験をされたことと思います。本日旅立ちを迎える先輩方は、期待と不安を胸に抱いて、新しい世界への扉を開こうとしていらっしゃると思います。

現在、我が国は少子高齢化にはじまり、不安定な経済状況や貧困といった多くの課題を抱えています。また、アメリカ大統領の交代により、世界もまた一つの節目を迎えようとしています。先月、日米首脳会談が行われましたが、今後の日米関係についても先行きが不透明な状態です。内憂外患という言葉がふさわしい状況ですが、先輩方が本学で学んだことを生かして、山積する課題に主体的に取り組んで下さることを願っています。

卒業されても、先輩方と沖縄大学の繋がりが途切れることは決してありません。困難に直面したときは、沖縄大学の教職員の方々を、そして私たち後輩の存在を思い出してください。先輩方のご多幸とご健勝を祈念し、在校生一同心よりお祝い申し上げ、送辞とさせていただきます。



卒業生答辞

(抄録)

卒業生代表 人文学部こども文化学科

高宮城 杏奈 (コザ高校卒)

本日は私たち卒業生のために、このような盛大な式を挙行していただき、卒業生一同心より御礼申し上げます。

大学生活を振り返りますと、楽しいことだけではなく、辛いことも共有できる友人たちとの出会いや、勉学、そして行事など様々な思い出が溢れます。ここにいる卒業生一人一人に、沖縄大学での学びがあり、思い出があることでしょう。私は教職課程を履修し、1年次から教員になるために様々なことに挑戦してきました。私が所属したゼミでは、地域の皆様に協力していただきながら、年に1度「沖大附属小中学校」や「学校ごっこ」という模擬学校を運営したり、小学校で体験授業をさせていただきました。一つの行事や授業を成し遂げることが出来た時の達成感は忘れられません。



4年次には、教育実習がありました。周りの先生方の優しさや、子ども達の明るい笑顔に支えられ、学び多い、充実した一ヶ月間を過ごすことが出来ました。楽しいだけではなく、大変な事もたくさんありました。が、教師のやりがいを身を持つて実感することが出来ました。また、今年度から始めた障がい学生支援では、支援を「される」「する」という枠ではなく、同じ大学生として、お互いが学び合い、

成長することが出来た1年間だったと思っています。沖縄大学で学んだ4年間は見えのない4年間にになります。今日をもつて私たちは慣れ親しんだ沖縄大学を離れ、それぞれの道を歩んでいきます。現在の沖縄は貧困や基地問題など、様々な問題が存在しています。現代を担っていく人材として、私たち一人一人がこれらの問題を見据え、信念をもって立ち向かっていかなければなりません。沖縄大学で学び得た知識や経験、かけがえのない友人たちとの出会いを糧に努力し続けていきます。

私にとって、最も充実した4年間になりました。



学長特別賞 神谷 純輝 国際コミュニケーション学科（豊見城高校卒）

勤勉な態度は素晴らしい、常に講義では前に座り、積極的に受講した。主専攻である英語コースの単位を2年で取得し、英語力向上と異文化交流を目的にフィリピンへ短期留学。帰国後は多くの交流を糧としスペイン語、中国語の講義を受講し、4年次から履修した中国語コースのほとんどの講義で単位を取得した。中国語検定試験 HSK3級合格、JAL中国語スピーチ大会特別賞、関西国語大学で行われた中国語歌唱コンクールでは一位を獲得した。

学外の活動では、2016年8月に、沖縄県が実施した「海邦養秀ネットワーク構築事業」の選考

を通過し、ペルー研修に参加。現地では英語、スペイン語を使ってコミュニケーションをとり、ペルーと沖縄の歴史、文化、移民について学んだ。帰国後は、沖縄NGOセンターと合同で報告会を開催し、メディアでも取り上げられた。

2016年10月に行われた「第6回世界のウチナーンチュ大会」へ参加し、三線を片手に中華圏、英語圏の人々に向けて沖縄文化を表現した。グローバルな環境で主体的に活動し続ける姿は、沖縄大学が描く地球市民の理念に沿った学生といえる。



嘉数昇記念賞 名嘉 帆希 子ども文化学科（名護高校卒）

大学生活で様々にチャレンジしたいという意欲を持ち、こども文化学科や大学の代表として幅広い活動をしてきた。多くの活動に参加し実践する

ことで本人の得たものは計り知れず、さらに沖縄大学の社会的名声を高めることに貢献した。

1年次：沖縄県青少年フレンドシップin九州（役員）／オフキャンにレク班として参加／沖大のリーダー研修参加／オープンキャンパス運営

2年次：沖縄県青少年フレンドシップin九州（役員）／ゆんたく大学のサークル活動で総務大臣賞／オフキャンリーダーとして参加／沖大のリーダー研修参加／沖縄国際映画祭に沖大代表として参加／オープンキャンパス運営／第13回ジュニア研究支援発表会（スタッフ）

3年次：国頭鯉のぼり祭り（スタッフ）／こども文化学科新入生歓迎球技大会（役員）／伊是名小学校で歴史劇（「チャレンジ沖大生」を活用）／こども文化学科ビーチパーティー（役員）／留送会（役員）／第14回ジュニア研究支援発表会（スタッフ）／ちむぐぐるチャリティフェスタ（東日本大震災復興支援）スタッフ／沖大祭沖大附属小中学校授業者

4年次：国場555 project メンバー／学生コンソーシアム学生サミット運営

2016年度 卒業生・修了生特別表彰者、卒業式

法経学部長賞



(左から) 前原友絵、小野啓子学部長、我那覇みなみ

我那覇 みなみ

法経学科(知念高校卒)

4年間のGPAがトップクラスであり、地元南城市の職員採用試験に現役で合格した。学習態度が優れていただけでなく、社会貢献部に所属し、真地団地の「百金食堂」にて高齢の方々に食事を提供するボランティア活動を継続するなどの公共心を持ち合わせている。卒業後も地域社会に大いに貢献することが期待される。

前原 友絵

法経学科(美里高校卒)

1年生から学内ボランティア活動に積極的に取り組み、聴覚障がい学生や肢体不自由学生に対する支援を行ってきた。2年生では、「日本聴覚障害学生支援ネットワーク」に本学団体として参加し、PEPNet-Japanから新人賞を授与された。学業面でも手を抜くことなく努力し、本学の学業奨学金や冠奨学金を受けてきた。

人文学部長賞



(左から) 田里英喜、山川昇椰、宮城能彦学部長、石原愛巳

石原 愛巳 こども文化学科(普天間高校卒)

卒業論文「物語文『一つの花』の作品研究～その構造と表現について～」は、小学校現場における教育実践に資する優れた内容である。また、小学校教師が集う国語教育研究会へも積極的に参加し、研鑽を積んだ。1年次より学科及びゼミの活動の企画運営の中心的存在であり、ノートテイクの活動も地道に続けた。

田里 英喜

国際コミュニケーション学科(泊高校卒)

自分を変えるべく入学した沖縄大学で、ほぼゼロから学びをスタートさせた。卒業時には学年トップ3に入るほどの英語力を身につけ、学科史上最大の伸び率を記録。下級生達からは伝説的な存在として憧れの対象になっている。比類無き努力をし、卒業後も語り継がれると思われる。語学力を活かせる専門商社で勤務する。

山川 昇椰

福祉文化学科(小禄高校卒)

日本PTA全国協議会国内研修プログラムにおいて、全国120余名の中学生の統括リーダーとして同協議会の活動に大きく貢献した。彼のリーダーシップは同協議会から高く評価され、二年連続で統括リーダーに指名された。このような活躍は、本学の学生の模範となるだけでなく、次代を担う中学生の育成にも大きく貢献した。

大学院研究科長賞



(左から) 新城将孝研究科長、宮城翔

宮城 翔

現代沖縄研究科地域経営専攻
(普天間高校、沖縄大学卒)

辺野古新基地建設をめぐる県と国の争訟を題材とする修士論文において、当事者協議による解決を迂回するがごときの法運用がなされた場合、それに対する歯止めとしての機能を司法に求め、国と地方の対等・協力の関係の構築を提案した。未開拓といえる分野への挑戦であり、国と地方の未来を切り開く意欲的な論文と評する。

総代



斎藤 登

大学院現代沖縄研究科
(相馬高校、神奈川大学卒)

與那嶺 麻里亞

人文学部こども文化学科
(豊見城南高校卒)

嘉数 愛

人文学部福祉文化学科
(豊見城南高校卒)

赤嶺 美佑

人文学部国際コミュニケーション学科
(コザ高校卒)

久場 露

法経学部法経学科
(浦添商業高校卒)

2016年度

2016年度は、382名の奨学生が選ばれました。各種ある奨学金の中、冠奨学金は、学生の勉学支援のためにご寄附下さった企業や個人、同窓会、有志会等のお名前を冠した奨学金です。冠奨学生の証書授与式では、仲地博学長より寄附の方々へ感謝状が贈られました。



冠奨学金証書授与式
(2016年8月10日本館同窓会館にて)

各種獎學生

満
新垣葉以(那霸西松川潤潤
小禄佐辺園末浦添工業外間
咲喜(浦添宮里麻衣子(首里)島
袋安生(向陽山城鉢亞(向陽鹿
川凌司(首里東)阿部勇司(北九
州市立)高良大星(那霸西嶺井
莉子(知念金城里佳(糸満)

スポーツ奨学生

良映利奈(北山) 村浜海斗(平野)
盛本友華子(那覇国際) 比嘉
海斗(糸満) 平良健信(那覇)

私費外国人留学生
授業料減免奨学生

沖縄大学推薦入試
特別奨学生

商業 大河原龍也（南風原）古謝
舞七 小禄下里梨菜 那霸商業
下地盛太郎（宮古總合美業）津波
夏音（那霸商業）比嘉結美（宜野
灣）松田大樹（首里東）山城龍也
(眞志川商業)伊敷香（嘉手納）
岡村朗利（浦添工業）下地彩花

沖縄大学後援会 支援特別奨学生

平良海南斗（北山）喜友名朝莊

沖縄大学後援会主
文化活動奨学生

仲宗根寿奈（美里） 石川亞希子（美里）

142号

2016年度寄附金報告

2016年4月1日から2017年3月15日までにいただいたご寄附について、以下のようにご報告いたします。このご厚意を大切にし、有効に使わせて頂きたいと存じます。

ご寄附いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

| 寄附者 | 金額(円) |
|-------|------------|
| 冠奨学金 | 8,400,000 |
| 企業・団体 | 1,136,700 |
| 個人 | 6,565,000 |
| 本学関係 | 16,898,000 |
| 合計 | 32,999,700 |

(寄附者内訳)

| 冠奨学金 | 金額(円) |
|-------------------|-----------|
| 株式会社沖縄銀行 様 | 1,750,000 |
| 株式会社琉球銀行 様 | 1,750,000 |
| 株式会社沖縄海邦銀行 様 | 1,050,000 |
| 沖縄電力株式会社 様 | 700,000 |
| 那覇空港ビルディング株式会社 様 | 700,000 |
| 福山商事株式会社 様 | 350,000 |
| 株式会社OCS 様 | 350,000 |
| 株式会社沖縄教育出版 様 | 350,000 |
| 沖縄ビル管理株式会社 様 | 350,000 |
| オリオンビル株式会社 様 | 350,000 |
| 公益財団法人金秀青少年育成財団 様 | 350,000 |
| 仲里政幸 様 | 350,000 |

| 企業・団体 | 金額(円) |
|--------------------------|---------|
| 公益財団法人緑の地球防衛基金 様 | 641,700 |
| 宮古テレビ株式会社 様 | 100,000 |
| 株式会社勝建設 様 | 70,000 |
| 株式会社石垣エスエスグループ 様 | 70,000 |
| 株式会社あざみ屋 様 | 35,000 |
| 株式会社紫電舎 様 | 35,000 |
| 有限会社郷土料理舟蔵の里 様 | 35,000 |
| 琉球ホテルリゾート八重山(ホテル日航八重山) 様 | 35,000 |
| 株式会社ピースアイランド宮古島 様 | 35,000 |
| 石垣空港ターミナル株式会社 様 | 35,000 |
| 共和産業株式会社 様 | 35,000 |
| 沖縄自分史センター株式会社 様 | 5,000 |
| 株式会社丸産業 様 | 5,000 |

| 個人 | 金額(円) |
|--------------------|-----------|
| 秋山勝 様(秋山家兄弟姉妹一同 様) | 6,500,000 |
| 仲村芳信 様 | 20,000 |
| 匿名寄附者 様 | 20,000 |
| 匿名寄附者 様 | 10,000 |
| 識名孝雄 様 | 5,000 |
| 備瀬知晶 様 | 5,000 |
| 屋富祖繁幸 様 | 5,000 |

| 本学関係 | 金額(円) |
|---------|------------|
| 沖縄大学後援会 | 13,900,000 |
| 沖縄大学同窓会 | 1,000,000 |
| 沖縄大学教職員 | 1,998,000 |

谷具志堅源太郎(小禄潮平綾)
太沖縄工業高宮杏奈(コザ)
仲程妃咲乃(コザ)宮城朋夏(那覇山城あかね)(眞志川商業)神谷成実(向陽上地久美子)南部農林)松本弥生(知念渡口理央(西原島袋離(北部農林)田原美海(八重山))

也(読谷)知念綾香(向陽津波古幸菜糸満)仲山夢乃(普天間)與那城弘尚(開邦花城彩(普天間)大城つかさ(知念)二桃原未来(那覇))

後援会支援修学奨学生

國仲亨(那覇)新城和希(名護)謝舞豊見城高良聖也(美東工科)知念志穂(浦添商業)當裕也(南風原)渡口勇太(美東工科)宮里玲菜(中部商業)久保野裕多(名護)中村健兒(糸満)根間玄美(南風原)宮平海飛(知念)宮城颶(首里東)上木秀成(球陽)神谷純輝(豊見城)松田唯月(前原)上原さくら(那覇国際)上原玲奈(豈見城)庄明日香(首里)真栄天間)平方菜々子(那覇国際)島津侑実(首里)渡嘉敷麗佳(首里)名嘉愛和(那覇)花城佳奈(普天間)垣花友野(普天間)太田裕

國仲亨(那覇)新城和希(名護)謝舞豊見城高良聖也(美東工科)知念志穂(浦添商業)當裕也(南風原)渡口勇太(美東工科)宮里玲菜(中部商業)久保野裕多(名護)中村健兒(糸満)根間玄美(南風原)宮平海飛(知念)宮城颶(首里東)上木秀成(球陽)神谷純輝(豊見城)松田唯月(前原)上原さくら(那覇国際)上原玲奈(豈見城)庄明日香(首里)真栄天間)平方菜々子(那覇国際)島津侑実(首里)渡嘉敷麗佳(首里)名嘉愛和(那覇)花城佳奈(普天間)垣花友野(普天間)太田裕

那覇空港ビルディング(泊)伊藤智寛(二俣湯川妙菊(沖縄佳(与勝)山川佳乃(沖縄国際大学)志良沙沙希(小禄)伊良皆美(咲首里))

那覇空港ビルディング(泊)伊藤智寛(二俣湯川妙菊(沖縄佳(与勝)山川佳乃(沖縄国際大学)志良沙沙希(小禄)伊良皆美(咲首里))

那覇空港ビルディング(泊)伊藤智寛(二俣湯川妙菊(沖縄佳(与勝)山川佳乃(沖縄国際大学)志良沙沙希(小禄)伊良皆美(咲首里))

那覇空港ビルディング(泊)伊藤智寛(二俣湯川妙菊(沖縄佳(与勝)山川佳乃(沖縄国際大学)志良沙沙希(小禄)伊良皆美(咲首里))

大学入試センター試験利用入試授業料減免奨学生

金氣彩佳(首里東)池間宥佳(那覇平得碧望(普天間)平方菜々子(那覇国際)宮城南美(向陽有川滝之尚(加治木)伊集海斗(真志川)伊良波長一郎(那覇国際)川田ひばり(那覇)島津侑実(首里)渡嘉敷麗佳(首里)名嘉愛和(那覇)花城佳奈(普天間)垣花友野(普天間)太田裕

長田格(知念)玉寄愁(首里東)屋良朝一郎(沖縄リハビリテー

琉球銀行(糸数昌馬(美里)金城光(糸満)大城悠司(沖縄工業)渡口采可(北山)野原華子(糸満)田場愛佳(コザ)大城有希(向陽)西原麻奈(知念)勢理客ゆか(宜野座)山城舞茄(普天間)

沖縄ビル管理(當眞嗣隆(那覇)才リオンビル(岸本裕平(名護)松田輝(コザ)OCS(糸平怜(嘉手納)福山商事(新垣文香(普天間)

沖縄教育出版(前原友絵(美里)宮地優斗(宮古総合実業)吉濱優斗(宮古総合実業)新里友都(八重山)八重山地区有志会(宮城吉生(八重山商工)同窓会八重山地区有志会(宮城吉生(八重山商工))

那覇空港ビルディング(泊)伊藤智寛(二俣湯川妙菊(沖縄佳(与勝)山川佳乃(沖縄国際大学)志良沙沙希(小禄)伊良皆美(咲首里))

那覇空港ビルディング(泊)伊藤智寛(二俣湯川妙菊(沖縄佳(与勝)山川佳乃(沖縄国際大学)志良沙沙希(小禄)伊良皆美(咲首里))

那覇空港ビルディング(泊)伊藤智寛(二俣湯川妙菊(沖縄佳(与勝)山川佳乃(沖縄国際大学)志良沙沙希(小禄)伊良皆美(咲首里))

那覇空港ビルディング(泊)伊藤智寛(二俣湯川妙菊(沖縄佳(与勝)山川佳乃(沖縄国際大学)志良沙沙希(小禄)伊良皆美(咲首里))

那覇空港ビルディング(泊)伊藤智寛(二俣湯川妙菊(沖縄佳(与勝)山川佳乃(沖縄国際大学)志良沙沙希(小禄)伊良皆美(咲首里))

那覇空港ビルディング(泊)伊藤智寛(二俣湯川妙菊(沖縄佳(与勝)山川佳乃(沖縄国際大学)志良沙沙希(小禄)伊良皆美(咲首里))



創立60周年記念事業委員会（左より、金城正弘同窓会長、仲地博学長、長濱正弘理事長、喜教昇明後援会会長、喜納憲利評議会議長）

本学は沖縄最初の私立大学として、米軍統治下で開学しました。実業家で創立者の嘉数昇が「私たちは郷土、この沖縄に愛情と誇りを」という意を込めてその名がついた沖縄大学は、2018年6月に創立60周年を迎えます。

1972年の日本復帰に際しては、他大学との統合ではなく自主独立の道を歩むという選択を

創立60周年記念事業委員会

制が評価され、私立大学等改革総合支援事業及び私立大学研究ブランディング事業が採択されるなど、経営面の強化による大学改革の進展が大学理念の追求を持続的に支える力となっています。

沖縄大学は記念すべき創立60周年を迎えるにあたり、大学、評議員会、後援会、そして同窓会が一体となって、就学環境の整備に取り組んでまいります。

教員採用試験に合格した36名
4月より教壇へ。



(教職支援センター調べ)

編集後記

『沖縄大学広報』は寄稿、講話録、インタビュー記事が多い。編集していると、それそれが絡み合っていることに気づくことがある。今号も然り。絡み合いの結び目を確認し、ほどき辿る作業をもう少し丁寧にすると、一步先の「沖大らしさ」が立ち現れてきそう。(後藤)

本学の教員養成は、学校現場で学ぶことを大切にしており、1年次「観察実習」、2・3年次「インター・ンシップ」ののち、4年次「教育実習」へ進みます。また、各ゼミでは、「沖縄大学附属小中学校」「学校こっこ」をはじめ県内外の小中学校生との交流事業を行うなど、学生は様々な機会を通して教員に必要とされる企画力や運営力を主体的に身につけていきます。

生、地域史を研究する方々など
が集まり、和やかな雰囲気で行
われました。今後も、本学の「法
史学」等で教壇に立たれる田里
先生の益々のご活躍をお祈りし
ます。

ども文化学科現役生8名を含め
36名が、この春から小学校、中学校
（英語、社会）、高校（地歴）の教員
として教壇に立ちます。

資料を分析する以下の貴重なご研究は、コモンズを研究する後進にも注目されています。

3月22日 この春をもって退職
をされた田里修教授の最終講義
および懇親会が開かれました。
先生は、長い研究生活の中で
沖縄の法制史を研究されてきま
した。杣山や地割に関わる歴史
教壇へ。

最終講義　田里修教授
—琉球・沖縄の歴史研究